2013 FORMULA 4 CHAMPIONSHIP F4 PADDOCK NEWS

才能と技術を育てるステップアップカテゴリー Vol.2

[EAST SERIES R1-R4 REVIEW]

ベテランVS若手が激突 毎戦、勝者が入れ替わる東日本シリーズ

今年のF4東日本シリーズは、ツインリンクもてぎで3戦、残る3戦は富士スピードウェイと筑波サーキット、そしてスポーツランドSUGOで1戦ずつ開催される。そういったコースのバラエティも影響しているのか、ここまで行なわれた4戦はすべて2桁エントリーがあり、パドックも活況を呈している。

もてぎが舞台の開幕戦では、スーパーFJ出身のルーキーたちの活躍が目立っていた。いきなりPPを山下健太が獲得し、2番手は石川京侍。そして、山口大陸を挟んで加藤智が4番手に。そのことはスーパーFJで培った実力が、F4でもしっかり通用していることの証明となった。決勝では山下が好スタートを切るも、1コーナーまでの車速の伸びに優ったのは石川。しかし、トップを奪われた後も山下は石川に食らいついて離れなかったものの、最後まで逆転は許されなかった。3位は終始単独での走行となった山口が獲得する。

富士が舞台の第2戦、FCJと日程がかぶった石川、山下が欠場する中でPPを奪ったのは昨年の日本一決定戦ウイナーの中山雅佳で、2番手は阿部拓馬。フォーミュラの経験こそないが、昨年は全日本カート選手権KF1クラスを戦い、11年にはKF2クラスで優勝。また新星がひとり誕生した。だが、ウエットコンディションに転じた決勝では、その阿部がスタートに失敗。代わって5番手から金井亮忠が一気に順位を上げて、中山のすぐ背後に。得意の雨を味方につけた金井は2周目には早くも中山をオーバーテイク。そのまま逃げ続けて11年の第3戦以来となる勝利を挙げた。中山は5周目にブレーキロックからスピンして無念のリタイア。いったんは5番手まで後退した阿部が2位まで追い上げ、さらにドライブシャフトの破損から最後尾スタートを余儀なくされた石川資章が3位へと大きく順位を上げる結果となった。

再びもてぎで行なわれた第3戦では阿部が幻のPPに。ピットロードでの速度超過により、5グリッド降格となったのだ。繰り上がってPPを奪ったのは石川の代役として起用された元嶋佑弥。これに山口、中山、加藤、金井と続く。特に阿部、元嶋、山口は、それぞれコンマ01秒離れぬ僅差だったこともあり、決勝も接戦となることが期待されたが……。絶妙のスタートを決めた元嶋は早々と逃げの構えに出て、1周目だけで1秒1ものリードを奪う。その後方での加藤と山口の接戦に中盤からは阿部も加わり、三つ巴の状況となる。しばらくはそれぞれ様子をうかがい、終盤になると勝負に打って出る。まず仕掛けたのは11周目の山口ながら、加藤は逆転を許さなかった。逆に12周目には阿部が山口を攻め立てて逆転（阿部は重量不足のため失格処分となる）。このバトルの間に元嶋はより差を広げて、圧勝することになった。

第4戦のSUGOには3戦ぶりに山下と石川が復帰。予選の最中に赤旗中断があり、その際にセッティング変更を行なったことが功を奏し、コンマ6秒差で山下が石川を抑えてPPを奪う。3番手には山口、そして4番手には金井がつけた。決勝のスタート進行中に雨が降り出し、いずれの車両もグリッド上でタイヤをレイン用に交換する。SCスタートが明けてバトル開始と同時にスパートをかけたのは山下だった。序盤のうちに石川との差を広げ続けるが、終盤になって雨が強くなるとラップタイムでは逆転するようになる。一気に詰め寄られるが、コンマ6秒差ながらも振り切って、山下が初優勝を飾るとともに、今季4人目のウイナーに輝いた。3位は金井が獲得。その結果、山口がランキングトップにつけ、3pt差で金井が2位に。さらに金井から4pt差で石川と山下が同点で並ぶことに。上位陣の差はごくわずかとあって、ラスト2戦も予想をはるかに超えるような戦いになりそうだ。

左：西日本開幕戦と同様に東日本開幕戦を制した石川（左）に対して、SUGOでは山下（中央）が勝利を挙げる。右：常に表彰台争いに加わる加藤は第3戦で2位を獲得。下：山下(#14)と石川(#12)がシリーズを席巻する中、フル参戦の山口がランク首位につける。

左：第2戦で5番手から追い上げ独走優勝を果たしたベテランの金井。今年デビューしたNATS001は、UOVAモノコックを使用した日本自動車大学校製の新車。右：第3戦ではS-FJ、FCJで活躍してきた元嶋がを制す。ベテラン加藤も2位奪取。

ROUND 1 MOTEGI

●3月17日 ●ツインリンクもてぎ ●晴れ／ドライ ●12周

Pos	No	Driver	Type	Machine	Time/Gap
1	12	石川京侍	KK-ZS	佐藤制作所☆Rn-SミストZS	22'40"966
2	14	山下健太	F108	ZAP・J.S.S.・PFC	+0"874
3	7	山口大陸	F108	TAIROKU F108	+7"396
4	10	加藤 智	RK-01	FEEL・RK01・TODA	+11"774
5	3	中山雅佳	RK-01	HITACHI BK RK01	+13"873
6	24	阿部拓馬	RK-01	ガレージ茶畑 RK01	+28"656
7	15	三浦 愛	RD10W	EXEDY テイクファースト	+33"146
8	6	中村俊行	WEST056	Super Winds 056	+35"446
9	35	髙橋忠克		高宮商事 ミストKK-ZS	+45"375
10	4	佐々木祐一	F108	Sendai☆DayDream	+47"649
11	17	小倉可光	MC090	チームNATS・OAC・090	+56"486
12	73	小野 真	WEST006	チームNATS・エクシズ006	+1'01"558
13	34	三浦 勝	MC-090	CMS090	+1'08"112
14	72	金井亮忠	NATS 001	チームNATS・正義 001	−2Laps

ROUND 2 FUJI

●3月31日 ●富士スピードウェイ ●くもり→雨／ウエット ●15周

Pos	No	Driver	Type	Machine	Time/Gap
1	72	金井亮忠	NATS001	チームNATS・正義 001	30'07"187
2	24	阿部拓馬	RK-01	ガレージ茶畑 RK01	+33"001
3	12	MOTOAKI JISHIKAIWA	KK-ZS	Corsa clienti	+47"191
4	7	山口大陸	F108	TAIROKU F108	+53"651
5	35	髙橋忠克	KK-ZS	高宮商事ミストKK-ZS	+56"911
6	73	小野 真	WEST006	チームNATS・エクシズ006	+1'08"729
7	34	三浦 勝	MC-090	CMS090	+1'44"228
8	4	佐々木祐一	F108	仙台DayDream☆108	−1Lap
9	37	長 優子	RK-01	B-MAX・RK01・TODA	−1Lap
	3	中山雅佳	RK-01	HITACHI・BK・RK01	−10Laps
	10	加藤 智	RK-01	FEEL・RK01・TODA	

ROUND 3 MOTEGI

●6月23日 ●ツインリンクもてぎ ●晴れ／ドライ ●12周

Pos	No	Driver	Type	Machine	Time/Gap
1	12	元嶋佑弥	KK-ZS	佐藤製作所☆東名☆EKCミスト	22'56"787
2	10	加藤 智	RK-01	FEEL・RK01・TODA	+8"380
3	7	山口大陸	F108	TAIROKU F108	+9"529
4	99	河野裕一	WEST006	エクシズCMS芳豆樹006	+32"887
5	4	佐々木祐一	F108	Sendai☆DayDream	+33"523
6	72	金井亮忠	NATS001	チームNATS・正義 001	+35"915
7	6	中村俊行	WEST056	Super Winds 056	+36"871
8	17	小倉可光	MC090	チームNATS・OAC 090	+45"921
9	35	髙橋忠克	KK-ZS	高宮商事ミストKK-ZS	+48"361
	73	小野 真	WEST006	チームNATS・エクシズ006	−7Laps
	3	中山雅佳	RK-01	HITACHI・BK・RK01	−12Laps
	24	阿部拓馬	RK-01	ガレージ茶畑 RK01	失格

ROUND 4 SUGO

●7月14日 ●スポーツランドSUGO ●雨／ウエット ●15周

Pos	No	Driver	Type	Machine	Time/Gap
1	14	山下健太	F108	ZAP・JSS・PFC	27'11"483
2	35	石川京侍	KK-ZS	佐藤制作所☆Rn-sミストZS	+0"585
3	72	金井亮忠	NATS001	チームNATS・正義 001	+2"351
4	24	阿部拓馬	RK-01	ガレージ茶畑RK01	+12"907
5	7	山口大陸	F108	TAIROKU F108	+27"331
6	10	加藤 智	RK-01	FEEL.RK01・TODA	+32"913
7	73	小野 真	WEST006	チームNATS・エクシズ006	+42"648
8	4	佐々木祐一	F108	仙台☆DayDream	+56"860
9	3	中山雅佳	RK-01	HITACHI・BK・RK01	+1'00"888
10	6	中村俊行	WEST056	Super Winds 056	+1'21"114
11	17	小倉可光	MC090	チームNATS・OAC 090	+1'33"877

“イキ”のいい若手、石川と山下を抜いて ランキングでは山口がトップにつける

全日本カートからステップアップしてきた阿部。第2戦で2位を得て、第4戦で再び表彰台争いに加わる。後半戦も楽しみな存在だ。

DUNLOP F4東西シリーズはダンロップタイヤのワンメイクレースです F4協会HP www.formula-racing.org